

令和 2年 3月30日

記者會, 記者クラブ 各位

－ ものづくりで世界を先導する教育と研究開発 － オークマ工作機械工学館完成

このたび、名古屋大学東山キャンパス内に「オークマ工作機械工学館」(※別紙参照)が完成し、3月30日(月)に関係者によるテープカットを終え、4月から使用を開始することになりましたので、お知らせいたします。

本学とオークマ株式会社は10年以上前から連携を続けており、「オークマ工作機械工学寄附講座」を2015年に工学研究科に開設するなど、ものづくりの礎となる工作機械工学に関する教育・研究の振興を進めています。

新たに完成した「オークマ工作機械工学館」は、世界的なものづくりの中核エリアである名古屋において、オープンイノベーションを加速し、工作機械に関する基礎研究の強化、寄附講座の充実、グローバルに活躍できる人材の育成の促進をもって、同分野において世界に先駆けて永続的に革新的な成果を得ることを目的に、オークマ株式会社から名古屋大学基金への建設費の全額寄附(総額7億円)により、2018年度に着工したものです。

教育研究に向けての工作機械の提供を含めた施設ごとの寄附という形態は全国でも稀有なもので、2017年4月の共同記者会見では、同社花木会長(当時:代表取締役社長)から「ものづくり人材を広く育成し、5~10年先を見越し、世界をリードする研究開発をして欲しい」とのご発言があり、それを受け、松尾総長が「教育研究における企業と大学がつながる成功例として、世界で負けない新たな成果を生み出したい」と謝辞を述べました。

建物は地上2階、地下1階建てで、工作機械に関する基礎研究の強化、寄附講座の充実、グローバルに活躍できる人材の育成を目的として、大型クレーンを整備した大・小実験施設、研究室、多目的ホール、講義室を備えています。

本学では、今回のご寄附による施設及び最新工作機械を活用し、寄附講座を基盤として、工作機械の最先端研究や教育を通し、世界をリードする人材を育成するとともに工作機械の最先端研究を世界に発信します。

なお、今回、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、竣工記念式典は中止し、関係者によるテープカットのみとしました。また、竣工記念式典にあわせ、記念講演を実施する予定でしたが、こちらは延期となっております。

問い合わせ先

<全般>

名古屋大学工学部・工学研究科総務課
課長補佐 鈴木 雅之
TEL:052-789-3404 FAX:052-789-3100
E-mail:suzuki.masayuki@adm.nagoya-u.ac.jp

<建物関係>

名古屋大学施設管理部施設企画課
課長補佐 杉本 裕康
TEL:052-789-2114 FAX:052-789-2120
E-mail:sugimoto.hiroyasu@adm.nagoya-u.ac.jp

別紙

■オークマ工作機械工学館の概要（添付参照）

①所在地：名古屋大学東山キャンパス（愛知県名古屋市千種区不老町）

②建物面積：約 1,500 m²

③完成：2018年度着工，2020年3月完成，2020年4月から運用開始

④用途：実験室，研究室，講義室，ホール，会議室等を設置

レーザを用いた金属3次元積層造形や焼入れが可能な最新の5軸制御加工機などの最新鋭機を複数台配備し，大型クレーンを装備した6メートルの天井高の実験室，180名収容で国際会議も開催可能なホール（オークマホール）や講義室，研究室，会議室等で構成。

